

エル・ライブラリー（大阪産業労働資料館）の概要

2016年10月27日現在

（１）基本情報

①設置母体と設立年

公益財団法人大阪社会運動協会、1978年設立

エル・ライブラリーは2008年10月開館

②収支

2015年度 収入 19,366,110円（うち、約1620万円が寄付）

支出 19,745,684円

③蔵書構成と蔵書数

- ・通常の図書館資料以外に、博物資料、文書資料（アーカイブズ資料）を所蔵する MLA 統合型図書館
- ・図書6万8千冊、新聞・雑誌6万点（3千タイトル）、文書資料200メートル書架延長。
- ・収集対象年代は明治維新以来、現在まで
- ・閲覧室の座席数8席。書庫、事務所計180㎡ +アルファ
- ・来館利用者は年間792人（2015年度）、サポート会員登録数総計841人（有効会員410）

④職員数

- ・常勤：2人（館長、館長補佐）。館長が司書・学芸員有資格。館長補佐が教員免許あり
- ・非常勤：1人（週2回程度）英語サイト作成、Webサイト管理
- ・ボランティア：週3回が1人、週2回が3人、週1回が2人、うち3人が司書。
在宅2人（司書1、アーキビスト1）、臨時ボランティア数人。

（２）利用実態

①資料別の利用者

図書・雑誌：社会保険労務士、弁護士、労働組合役員、企業の人事担当者など

研修用DVD：企業の人事担当者など

文書資料、歴史資料：研究者、学生・院生

※大別すると、①最新情報を求めるビジネスパーソン、②アーカイブズを利用する研究者

②サービス対象者別の資料活用

- ・一般向け：展示会、労働法セミナー、映画上映会、幻灯会、トークイベント、有料講座など
- ・研究者向け：科研費プロジェクト、資料データベース構築プロジェクト等
- ・中小企業向け：社員研修用DVDの貸出

③人と人を繋ぐ場として

- ・「大人のためのラーニングコモンズ」：夜間貸切で勉強会に利用
- ・saveMLAK（東日本震災復興支援活動）の毎月の会議場所として提供
- ・図書館員などの「持ち込み企画」を実施して、トークイベントを開催

（３）利用者サービス

①レファレンス・サービス

独自ツール：「雑誌記事索引」をブログに毎週掲載

国会図書館の記事索引よりも細かい

ブログに掲載することによって検索サイトで上位にヒット

メールでのレファレンスにも対応

②研究支援サービス

研究テーマの提案

論文作成に必要な資料の紹介

「人」や「機関」を紹介

③郵送貸出

貸し出しはサポート会員に限定しているが、郵送でも可能。

（４）Web サイトで公開しているデータベースなど

①OPAC

②旗データベース

③大阪毎日新聞記事データベース

④労働史オーラルヒストリー・プロジェクトと音声データベース

（５）広報活動

電子広報：メールマガジン、ブログ、Twitter、Facebook

紙媒体：リーフレット、フライヤー、ポスター

人間：大阪マラソン

（６）その他

れいこちゃん記念文庫

難病とともに生きる子どもと家族を支援する NPO の情報収集・募金活動など